

平成26年第13回中津川市教育委員会（定例会）議事録（要旨）

日 時 平成26年12月18日（木） 午後1時30分

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 小幡 隆徳 松田 幸博 田島 雅子
小栗 仁志 大井 文高

事務職員 勝事務局長 原文化スポーツ部長
嶋倉教育次長兼学校教育課長 大塚教育企画課長
岡本子育て支援対策監兼幼児教育課長
今井文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
小林図書館長兼蛭川済美図書館長 曾我教育研修所長
辻発達支援センターつくしんぼ所長兼発達相談室長
山下子育て政策室長 幸協阿木高等学校事務長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教 育 長 報 告
4 議 事
5 閉 会

番 号	議 題	結 果
議第38号	平成27年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について	承 認
議第39号	中津川市立図書館規則の一部改正について	承 認

【開 会】

【議 事】

【委員長】議事に入ります。日程第1、議第38号 平成27年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について、ご説明願います。教育次長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

【委員長】ご意見、ご質問ございませんか。田島委員。

【田島委員】夏過ぎだったと思いますが、産休による数学や家庭科の先生の不足が起きていたようです。この異動で補うことができますか。

【委員長】教育次長。

【教育次長】産育休や病気等で休んでいる先生は大変多いです。県の費用で講師を充てて対応しておりましたが、この年度末に復帰される方もありますし、年度を超えてお休みになる方もあります。産育休が続く場合は、講師を充てるように人事異動をします。

【田島委員】少ない人数の中で適材適所の配置が大変だと思います。小中学校の研究発表会で授業を見せてもらった後、先生方の懇談会があります。そのとき、ベテランの先生の発言の中で、自分のやり方が一番だから君たちは違うと強固におっしゃる方もおられました。反対に自分の若い頃の物知らずなときのことを語りながら、うまく若い先生方を諭しておられるベテランの先生方を何人かお見受けしました。大変頼もしいと思いました。後輩に、また教育に大変熱意を持って接するベテランの先生方の姿でした。しかし、その話を聞く若い方々はどうなんだろうと感じました。先輩の意図をしっかりと把握しきれているのか。教科書選定のときに見せていただいた、あらゆる角度から至れり尽くせりの、工夫や想像力を働かす余地のないような教科書で育った子どもたちが段々と社会に出て、また教員になって活躍していく、そういう世代になっていくと思います。受け手のこちら側の方がそれなりに対応していかなければいけないという考え方をもっていった方がいいような気がします。ベテラン、中堅、若手、新任というふうにバランスよく配置するのも一苦勞のようですが、ベテランのいい経験を伝えるだけではなく理解して取り込んでもらえる工夫をして、ケアしていただかなければいけないと思いますので、よろしく願いいたします。

【委員長】発表会の場で先生たちが研究討議を行うのは意義のあることで、田島委員のおっしゃったように、ああいった場を通して若い先生が育ってってくれるといいと思います。またご指導をお願いします。

私から質問します。今、女性の管理職登用だけではなく、学校の勤務状況が厳しいこともあって、管理職を目指さない先生が増えていることも伺います。しかし、中津川市ということを考えると、地元の先生たちが本当に自分の学校という思いで、地元の学校を背負って立つという気概を持った人が増えることは非常に大事だと思います。

います。現状は管理職を目指す先生や、目指しているがなかなかうまくいかないことなどいろいろあると思いますが、将来の計画を順番に見ていく中で、数が足りていくような、そういう管理職が育って行っているのかについては、どうでしょうか。教育次長。

【教育次長】 ご指摘の通り中津川市出身の先生が非常に少ない状況で、他市、岐阜市やほかの地域から来ている先生が非常に多いので、当市の先生だけで当市の学校を全てまかなえる状況でないです。管理職についても、意識的に校長会を中心にして指導していただいております。目指す人はたくさんいます。今後も中津川市の子どものために計画的に育成をしていきたいと考えています。ご指導をよろしくお願いします。

【委員長】 ほかによろしいですか。

それでは、適材適所にそれぞれの先生方を配置していただくということですので、よろしくお願いします。

ほかにご意見、ご質問等ないようですので、議第38号 平成27年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について、は承認とさせていただきます。

続きまして、議第39号 中津川市立図書館規則の一部改正について、ご説明をお願いします。小林図書館長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

【委員長】 ご質問、ご意見ございませんか。田島委員。

【田島委員】 公募で館長においでいただいてから約3年半、2012年の5月に新図書館建設中止以来2年半です。中津川の図書館は、大きく変わりつつあります。図書館は本を借りるところだから用はないとか、図書館がどこにあるかも認識していないような市民がたくさんいる中、読書条例、図書館まつり、はがきコンクール、さまざまな講演会、絵本やケーキづくり、夜の図書館、本での婚活など、息つく暇もないような仕掛けで図書館のあり方をアピールしてください。館長率いる図書館職員の方々の力走ぶりに心から敬服しております。無から有を生み出す大変な苦労があったと思います。このカードの件も、少しでも効率よくサービスをするための工夫の一つだと思いますが、実際のところ、元気カードを利用している方は今どれくらいおられるのでしょうか。

【図書館長】 元気カードは図書館の貸し出しだけではなく市のいろいろなサービスにおいて使われるカードで、図書館単独の利用者数がつかめていません。それから、現状では利用者カードの登録数もシステム上把握できず、この1月からの新しいシステムを導入することで、はっきり出てくると思います。田島委員のご質問に正確な数字が出ないことをお詫び申し上げます。ただ、カウンターの様子を見ますと、最近市全域で元気カードの縮小化を図っているということで、図書館でも利用者が少なくなっているとスタッフから聞いています。図書館の元気カード導入は、平

成12年の図書館システムが入ったときに併用して使ったのがスタートだと聞いています。それが全体的に使われていないということで、この際一本に絞るという提案させていただいた次第です。

【田島委員】利用者カードで本を借りる人と、元気カードで借りる人があるということで。元気カードを使っている利用率は図書館においてはつかめていないということですか。

【図書館長】はい。

【田島委員】積極的に本を借りに来る方々なので、混乱も少ないのではないかと思います。この件は非常にすばらしい工夫だと思います。お願いばかりで申し訳ありませんが、図書館のこれからに向かってあり方を明確にして、中津川図書館としての思いを統一して伝え続けていけるような取り組みを続けていただきたいと思います。ご苦労さまでございます。

【委員長】ほかにご意見、ご質問ございませんか。小栗委員。

【小栗委員】元気カードと図書館利用カードを一本化することで、どういった業務の効率化ができるのでしょうか。

【図書館長】従来元気カードには市全域のサービスが網羅されており、個人情報もたくさん載った上で、貸し出しのカードとして使っていたという危険性も一方であったわけです。昨今たくさん情報漏えいの事故もありますので、図書館で必要な情報だけを必要とするカードに切り替えていくというメリットがあると思います。移行期間は1月6日から徐々にということになります。その間、多少ご不便があらうかと思いますが、結果的には図書館のカードを一本化することが今後の安全性も含めて、利用と満足提供が高くなると判断しています。

【小栗委員】私は今まで元気カードで図書館の本を貸し出しを受けていたのですが、今のお話では、元気カードで貸し出しをすると、元気カードに入っている個人情報も図書館に行ってしまうということですか。

【図書館長】見ようとすれば見られるということです。

【小栗委員】この1月から図書館利用カードしか使えないということの周知は、どのようにするのでしょうか。

【図書館長】ホームページと広報と館内の掲示、通常の図書館からの連絡の方法を全て取っての周知徹底ということになります。

【委員長】ほかにご質問、ご意見ございませんか。

ほかにご質問、ご意見ございませんので、議第39号 中津川市立図書館規則の一部改正については承認とさせていただきます。

以上で本日の議事は終了しました。次回の予定についてお願いします。教育企画課長。

【教企課長】次回は平成27年1月16日金曜日です。時間は午後1時30分から、

会場は本日と同じ当にぎわいプラザ４－１会議室で開催します。

【委員長】以上で第１３回中津川市教育委員会定例会を閉会します。ありがとうございました。

〔 閉 会（午後２時２４分） 〕